

大阪教育大学附属天王寺中学校評価資料
—生徒，保護者，教師を対象とする調査結果—

平成31年3月

(1) 調査内容

調査は、生徒、保護者、教員を対象に実施し、次の内容について回答を求めた。

【生徒・保護者用】

- Q1 中学・高校の別
- Q2 性別（生徒の性別）
- Q3 学年
- Q4 組
- Q5 SSH 科目受講の有無（中学生は該当せず）

生徒：「学校のように、あなたの1学期から今までの学校生活を振り返ってどう思いますか」

保護者：「学校のようにお子さまの1学期から今までの学校生活をどう思われますか。」

1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：少しそう思う、4そう思う

- Q6 この学校は、学校の考え方や目標をきちんと生徒に伝えている。
- Q7 この学校の先生は、生徒に興味・関心を持たせるため、授業に工夫をこらしている。
- Q8 この学校の生徒は、お互いを認め尊重しあっている。
- Q9 この学校では、先生と生徒がよく信頼しあっている。
- Q10 この学校は、生徒が成長するのにふさわしい環境である。
- Q11 将来の目標を持ち、それに向けて努力している。
- Q12 興味・関心を持って授業を受けている。
- Q13 学習において、予習・復習や課題の提出などに、普段から努力している。
- Q14 他の人の話をよく聞くことができ、また自分の考えを他の人に伝えることができる。
- Q15 よく観察して調べたり、物事を考えたりという、探求の活動に積極的に取り組んでいる。
- Q16 私は他の生徒と協力して活動している。
- Q17 学校で、まわりの人を大切にしている。
- Q18 学校で、挨拶や礼儀に気を配って生活している。
- Q19 学校の決まりごとをよく守っている。
- Q20 学校でやりたいことができ、生活が充実している。
- Q21 今、学校生活において心配や、悩んでいることは特にない。
- Q22 この学校のことを誇りに思っている。

Q6 について、平成 28 年度以前の設問は「将来の目標を持ち、それに向けて努力している。」であったが、本アンケートの調査対象が生徒よりも学校そのものであるとの考えから、昨年度から記載のとおりに変更した。

Q20 について、平成 28 年度以前の設問は「充実した学校生活を送っている」であったが、より具体的な設問とするために、昨年度から記載のとおりに変更した。

【教師用】

Q1	中学・高校の別
Q2	性別
Q3	SSH 関連授業の担当の有無
「1学期から今までのご自身の教育活動を振り返ってください」	
1：そう思わない， 2：あまりそう思わない， 3：少しそう思う， 4そう思う	
Q4	生徒に将来の目標を持たせ，それに向けて努力させている。
Q5	探求的な活動を意識して，生徒に積極的に取り組ませている。
Q6	読解力や表現力の育成を意識して，生徒を指導している。
Q7	生徒に興味・関心を持たせるため，授業に工夫をこらしている。
Q8	予習・復習や課題の提出など，普段から生徒に努力させている。
Q9	生徒のようすをよく把握しながら指導や相談への対応ができています。
Q10	他の生徒と協力して活動するよう指導している。
Q11	人権を尊重した仲間作りを意識して指導している。
Q12	時間を意識した生活をするよう指導している。
Q13	学校にふさわしい服装を意識した生活をするよう指導している。
Q14	教室などの整理整頓や美化を意識した生活をするよう指導している。
Q15	生徒が充実した生活を送れるように努力している。
Q16	本校の教育目標を理解して教育活動を行っている。
Q17	自分の指導目標や考え方は生徒に理解されている。
Q18	保護者への対応は自信を持ってできている。
Q19	職場環境を良くするよう努めている。
Q20	熱意を持って日々の仕事に取り組んでいる。

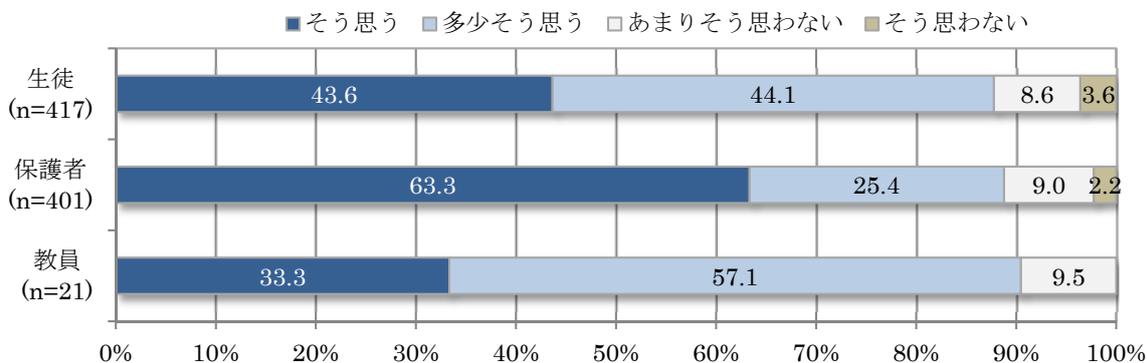
(2) 回答者数

対象ごとの有効回答者数は下表のとおりである。

対象	属性	性別			学年				合計
		男性	女性	無記不明	1年	2年	3年	無記不明	
生徒 (n=420)		206	209	5	107	156	156	1	420
		49.0	49.8	1.2	25.5	37.1	37.1	0.3	100.0
保護者 (n=402)		201	198	3	129	149	122	2	402
		50.0	49.3	0.7	32.1	37.1	30.3	0.5	100.0
教員 (n=21)		16	5	0					21
		76.2	23.8	0.0					100.0
全体 (n=843)		423	412	8	236	305	278	3	843
		50.2	48.9	0.9	28.7	37.1	33.8	0.4	100

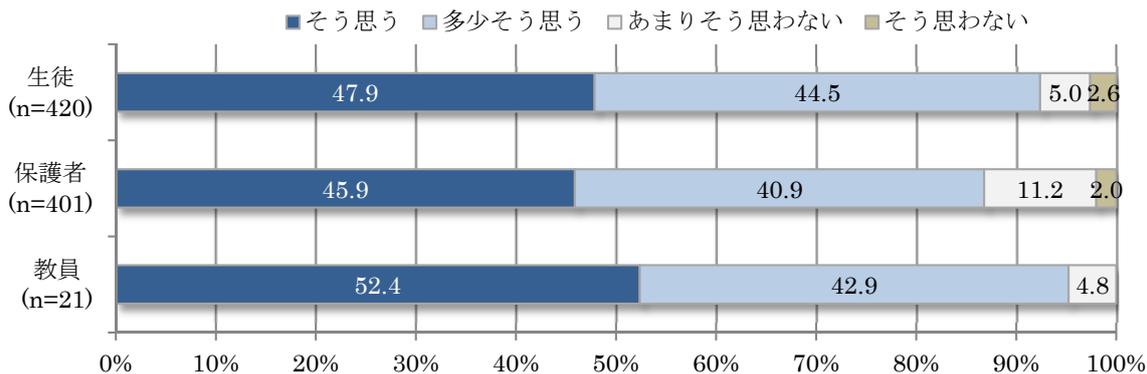
(3) 学校生活にかかわる自己評価の（クロス集計）結果

① 将来の目標 (p<0.01)



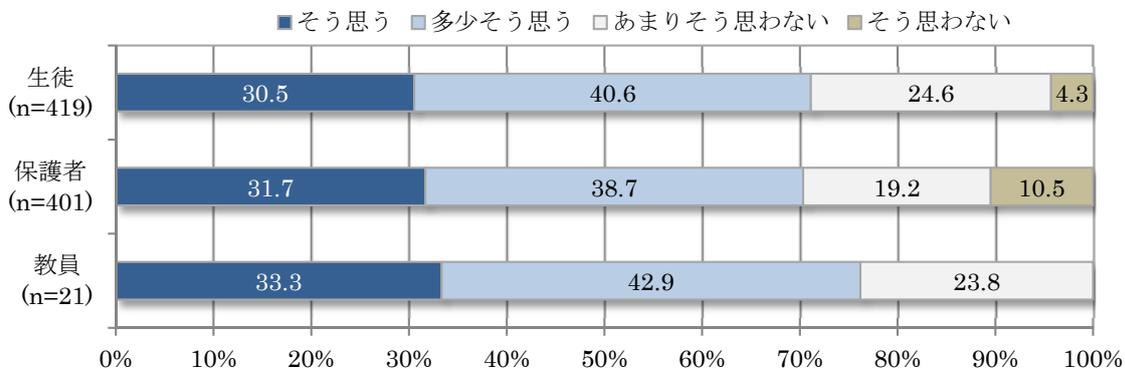
教員は9割以上が肯定的な回答をしており、生徒、保護者とも9割近くが肯定的な回答となっている。

② 授業の工夫



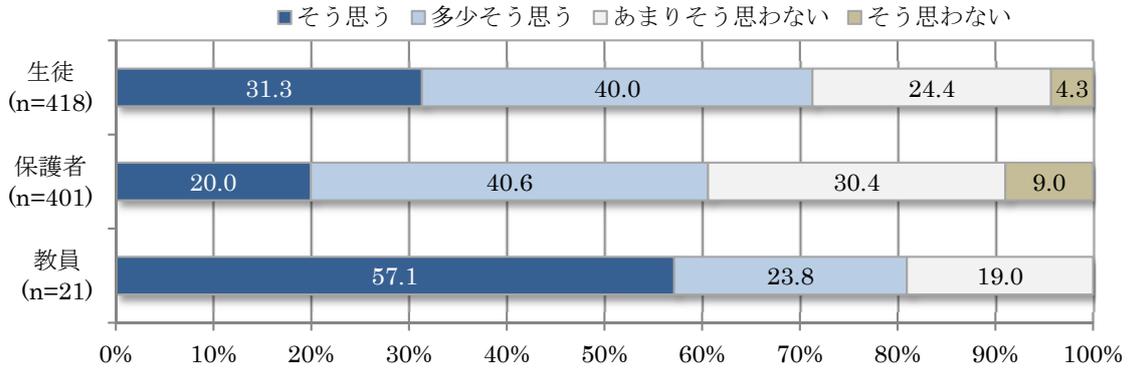
生徒、保護者、教員とも肯定的な回答の比率が8割を超えている。

③ 予習復習 (p<0.05)



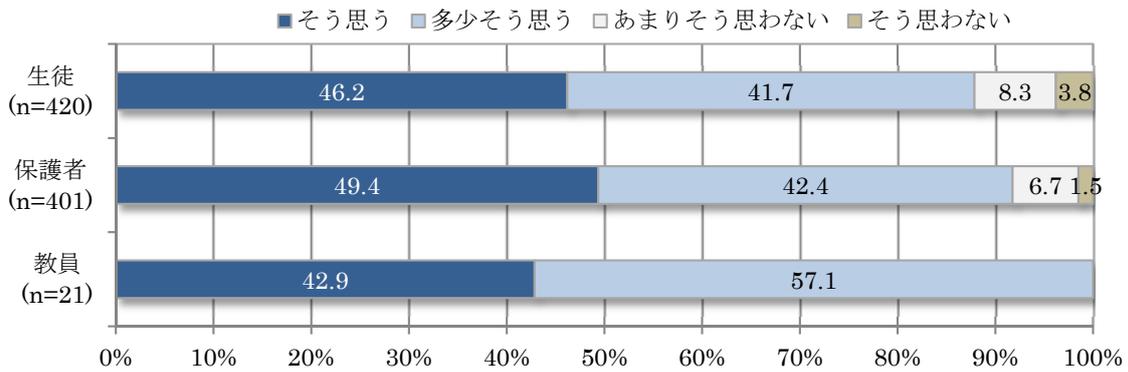
生徒、保護者、教員とも肯定的な回答の比率が、7割を超えており、教員がやや高い。

④ 読解力や表現力 (p<0.01)



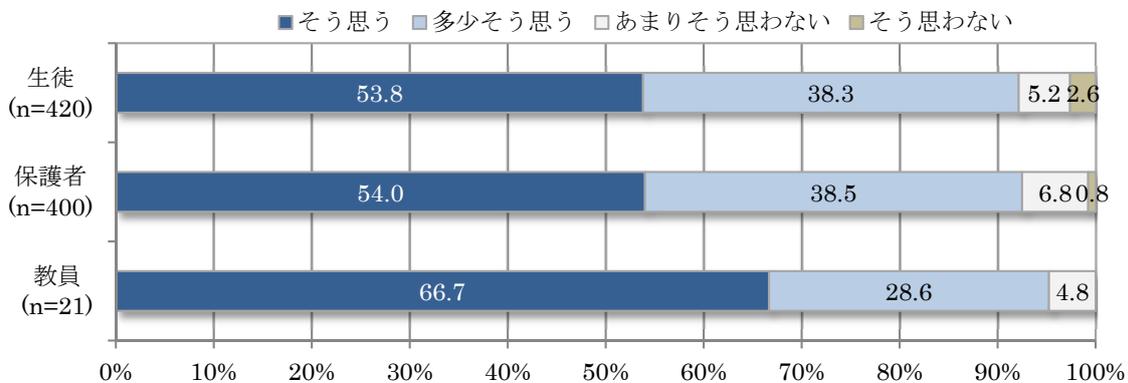
肯定的な回答の比率が、教員、生徒、保護者の順で、教員と保護者には大きなポイントの差が認められた。

⑤ 探求的な活動



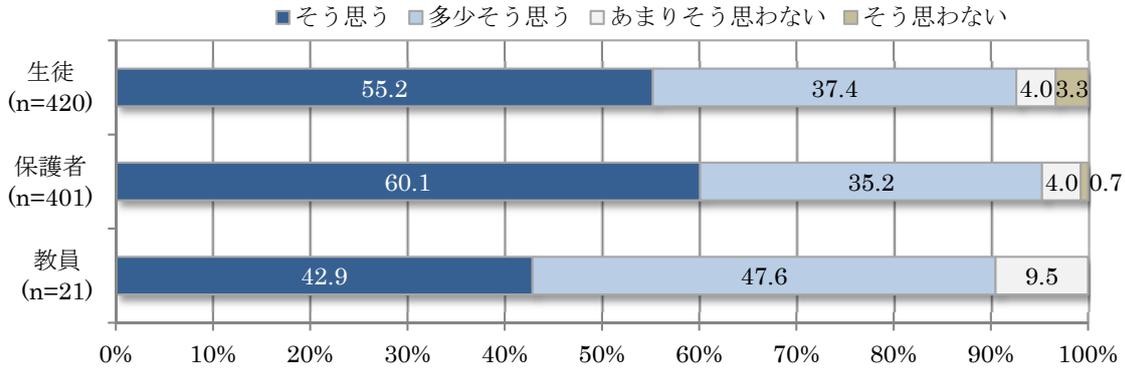
教員は全員が肯定的な回答をしているが、生徒、保護者の約1割は否定的な回答をしている。

⑥ 他の生徒と協力



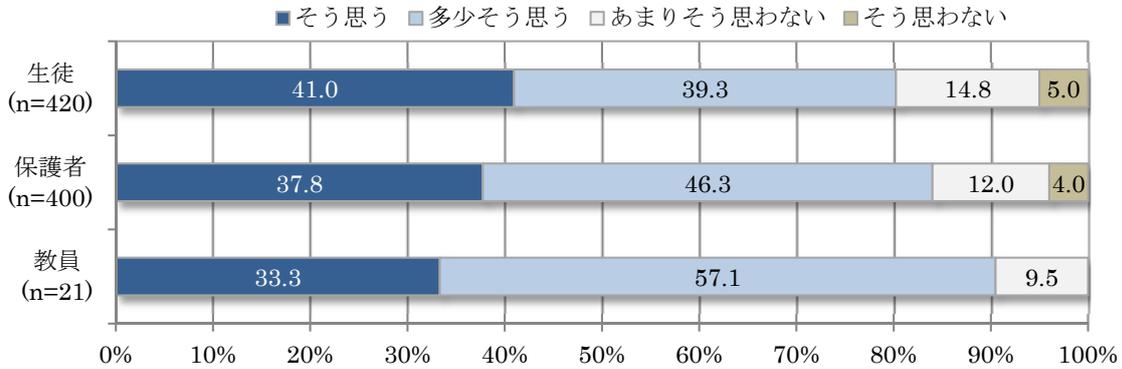
生徒、保護者、教員ともに9割が肯定的な回答をしている。

⑦ 人権を尊重した仲間作り



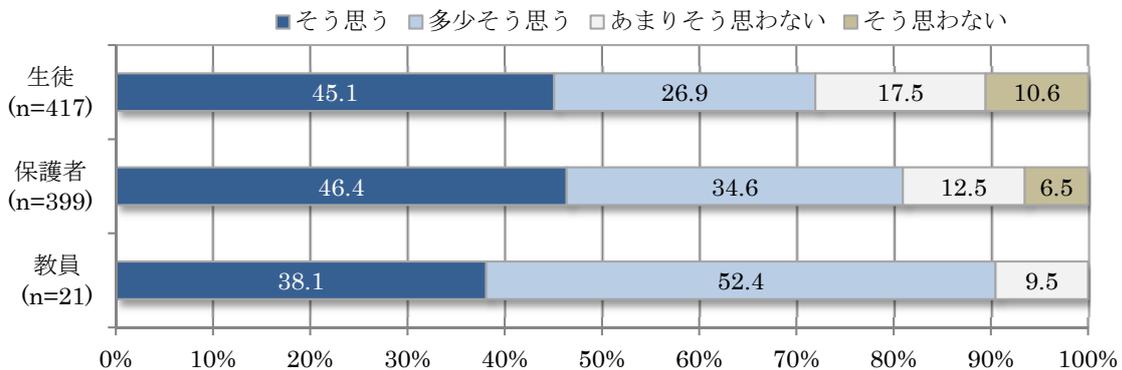
生徒、保護者、教員とも肯定的な回答が9割を超えている。

⑧ 充実した生活



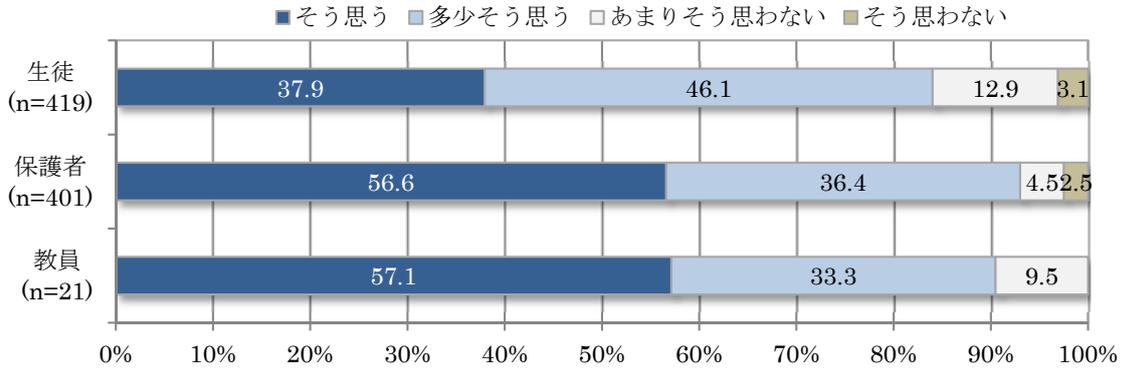
生徒、保護者の8割以上、教員の9割以上が肯定的な回答をしている。

⑨ 生徒の様子への把握 (p<0.05)



保護者の8割以上、教員の9割以上が肯定的な回答をしているが、生徒の3割弱は十分に様子を把握されているとは感じていない。

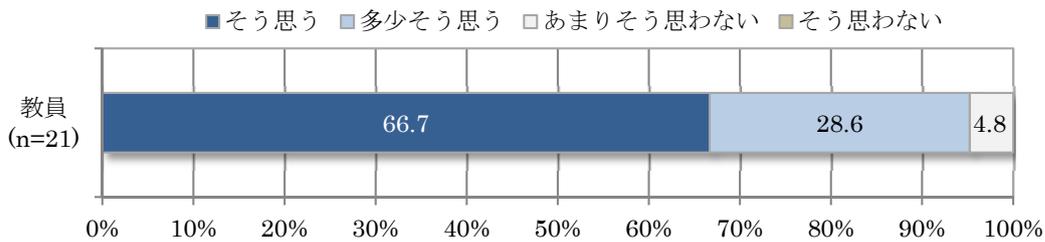
⑩ 決まりの遵守 (p<0.01)



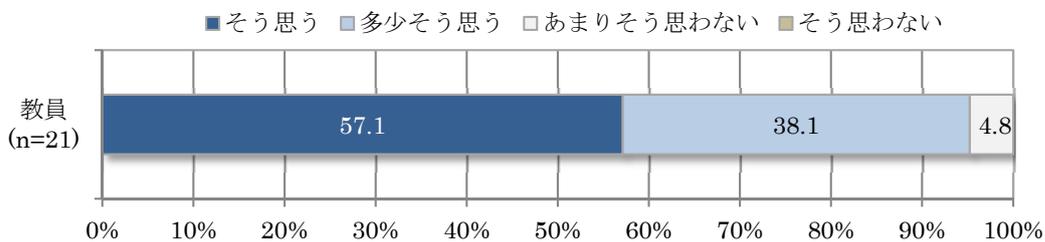
生徒の8割，保護者，教員の9割が肯定的となっている。

注) 教員の「決まりの順守」は，教師用の「時間を意識した生活を指導している」「身なりを意識した生活を指導している」「教室の整理整頓を意識した生活を指導している」の3つの質問に対する回答の平均で代用した。

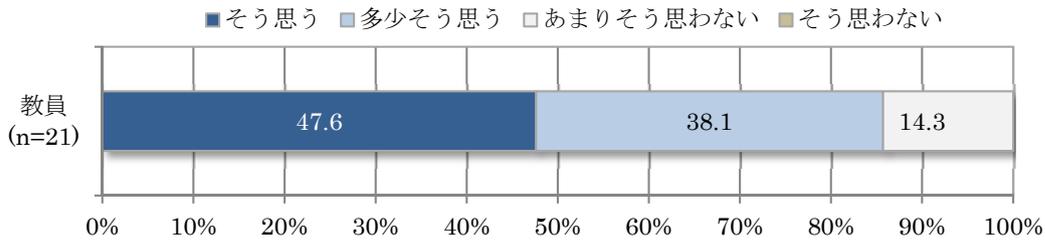
⑪ 時間を意識した生活の指導



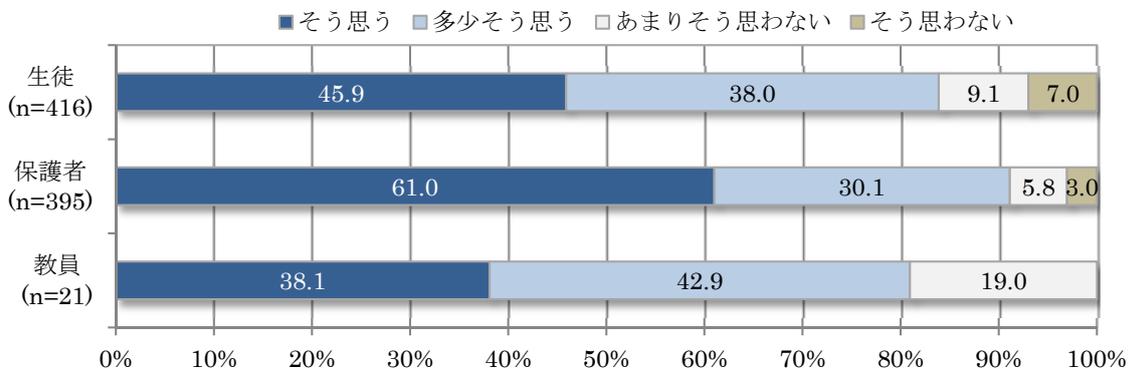
⑫ 学校にふさわしい服装の指導



⑬ 教室などの整理整頓の指導

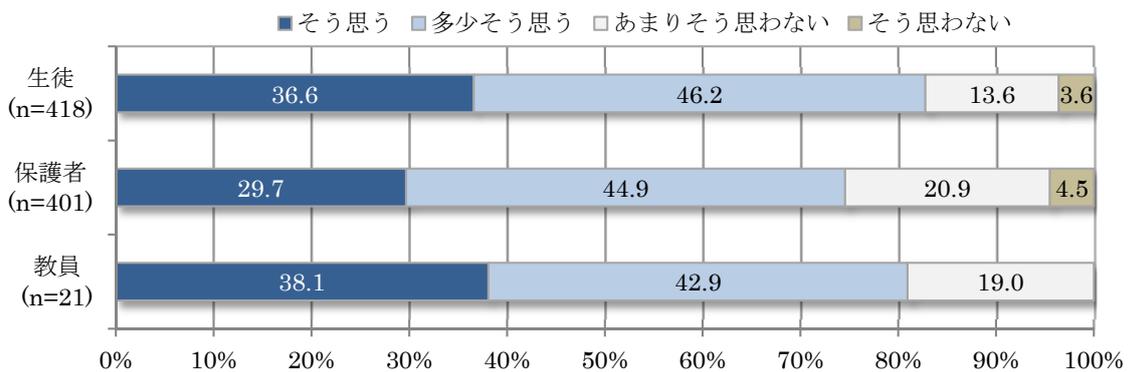


⑭ 学校への誇り（教員は本校の教育目標の理解）(p<0.01)



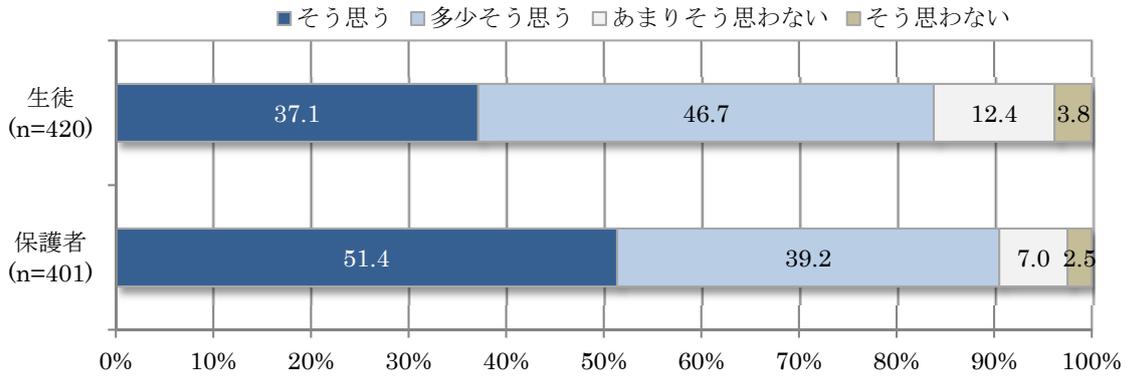
肯定的な回答は、保護者、生徒、教員の順で、8割から9割以上が肯定的であった。

⑮ 興味関心（教員は指導目標）

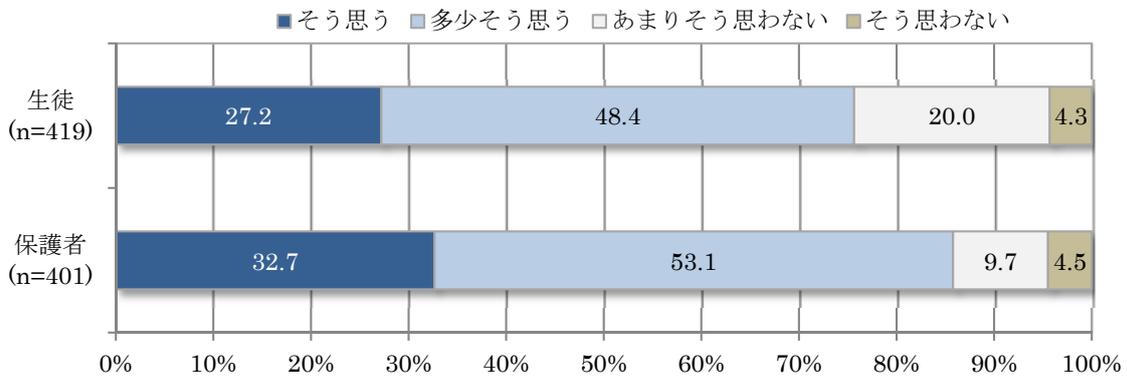


肯定的な回答は、生徒、教員、保護者の順で高かった。

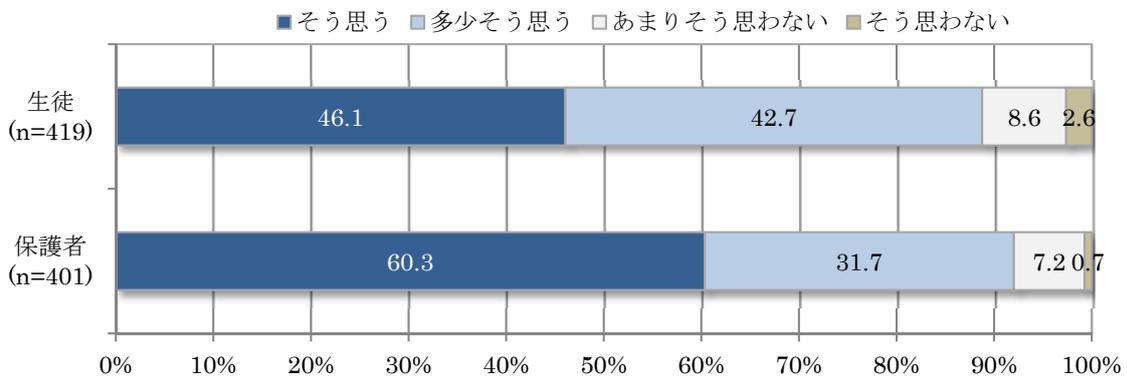
⑩ 生徒の認め合い (p<0.01)



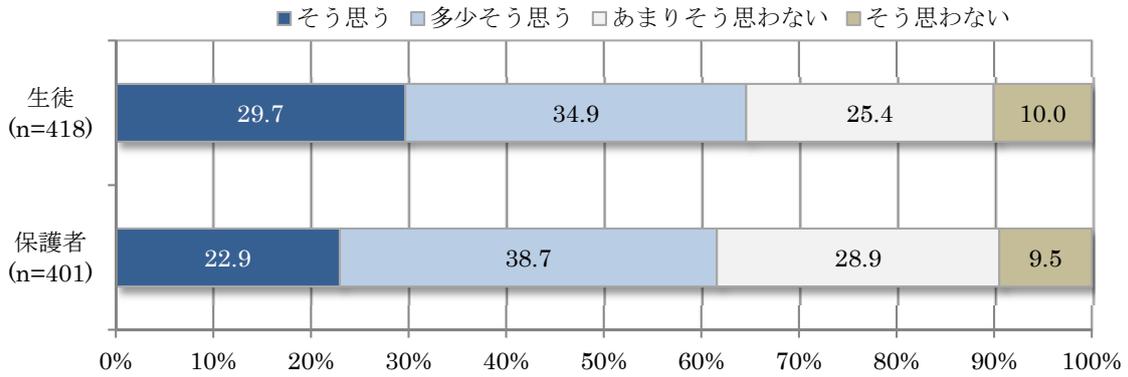
⑪ 教師と生徒の信頼 (p<0.01)



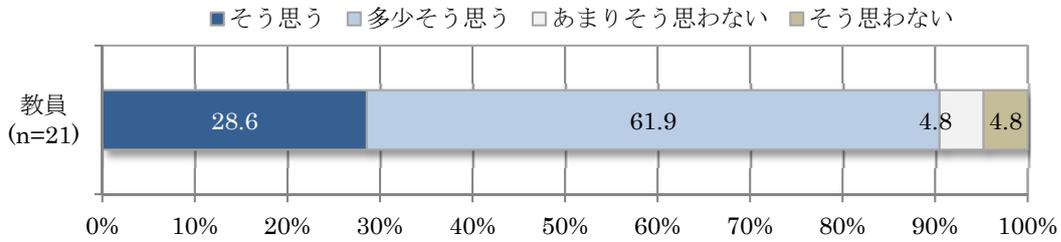
⑫ ふさわしい環境 (p<0.01)



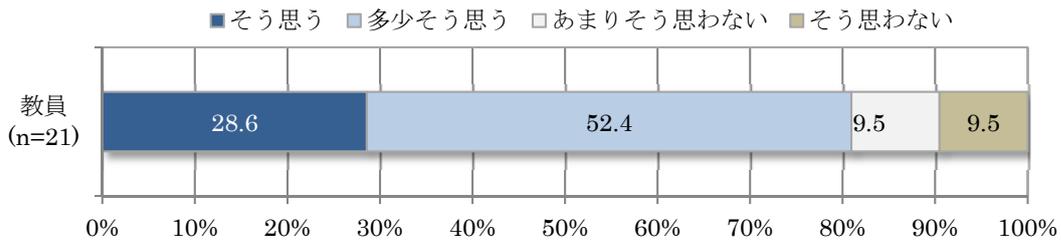
⑩ 目標と努力



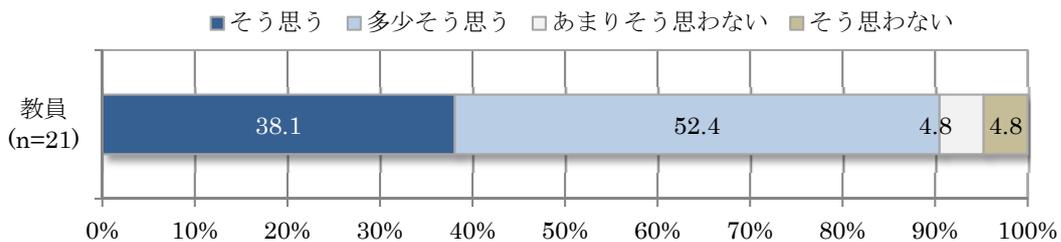
⑳ 保護者に自信を持って対応しているか (教員)



㉑ 職場環境を良くするために努めているか (教員)

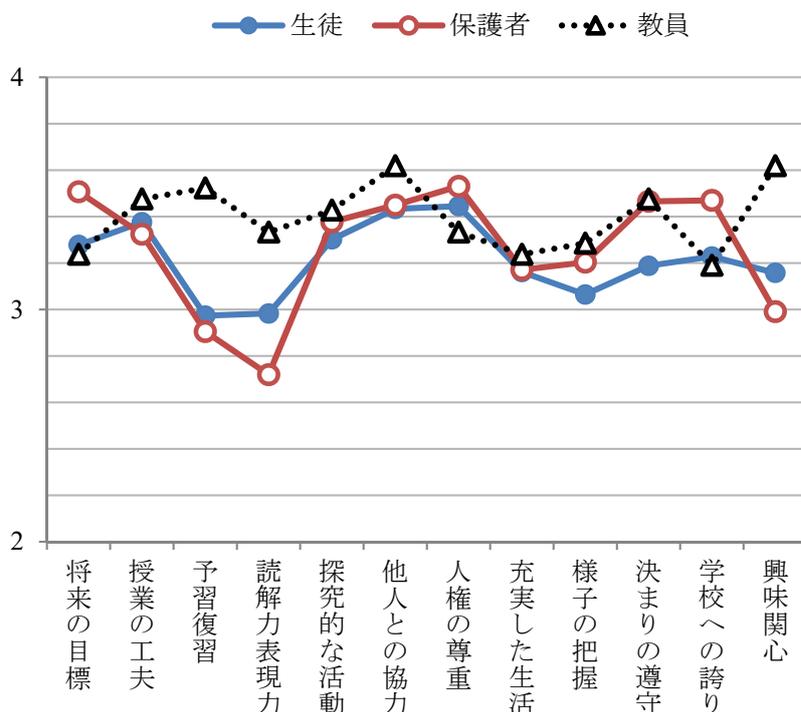


㉒ 熱意をもって日々の仕事に取り組んでいるか (教員)



(4) 学校生活にかかわる自己評価の比較

① 生徒，保護者，教員間比較



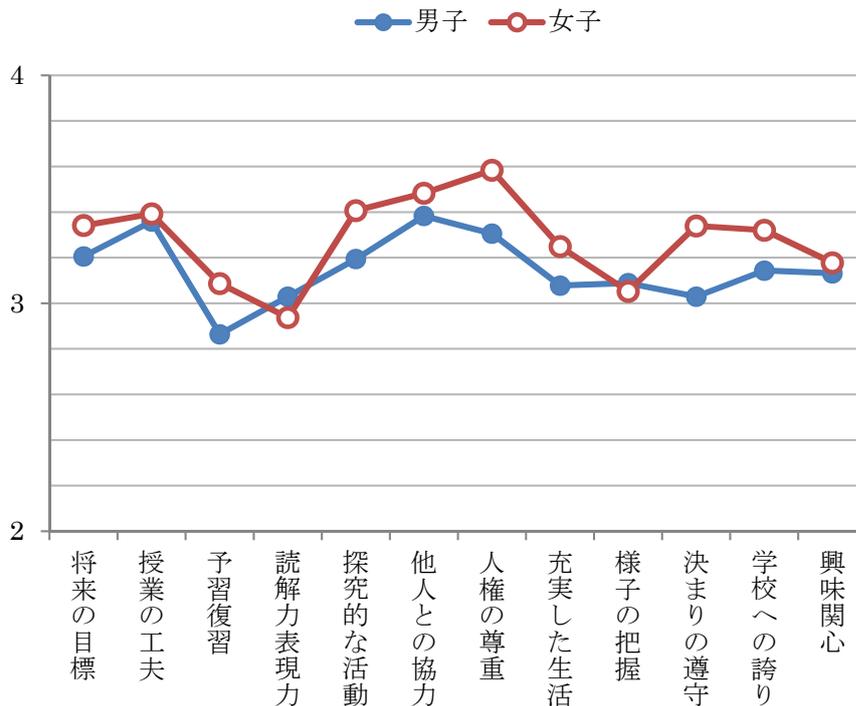
項目	生徒	保護者	教員	F 値	有意水準	多重比較
将来の目標	3.29	3.51	3.24	8.59	p<0.01	保護者>生徒
授業の工夫	3.38	3.32	3.48	1.36		
予習復習	2.94	2.91	3.52	3.28		
読解力表現力	3.00	2.72	3.33	16.73	p<0.01	生徒>保護者
探究的な活動	3.29	3.38	3.43	2.22		
他人との協力	3.43	3.45	3.62	0.76		
人権の尊重	3.46	3.53	3.33	2.52		
充実した生活	3.18	3.17	3.24	0.05		
様子の把握	3.07	3.20	3.29	2.43		
決まりの遵守	3.16	3.47	3.48	18.90	p<0.01	保護者>生徒
学校への誇り	3.25	3.47	3.19	9.63	p<0.01	保護者>生徒
興味関心	3.17	2.99	3.62	8.64	p<0.01	教員>保護者

「将来の目標」から「興味を持って授業を受けている（指導目標を理解している）」までの12項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，生徒，保護者，教員の各項目に対する回答の平均を算出し，平均の差の推計に一要因分散分析を施した。多重比較には Tukey の方法を用いた。

その結果，「将来の目標」を始め5項目に有意差が認められた。生徒のポイントが保護者より有意に高いのは，「読解力表現力」であった。主体的な学習とコミュニケーションが重視される実感を生徒のほうが具体的に感じていると思われる。

包括的にポイントを比較すると，「他人との協力」，「人権の尊重」といった他者との関わりのポイントが相対的に高いことがわかる。

② 生徒の性別による比較

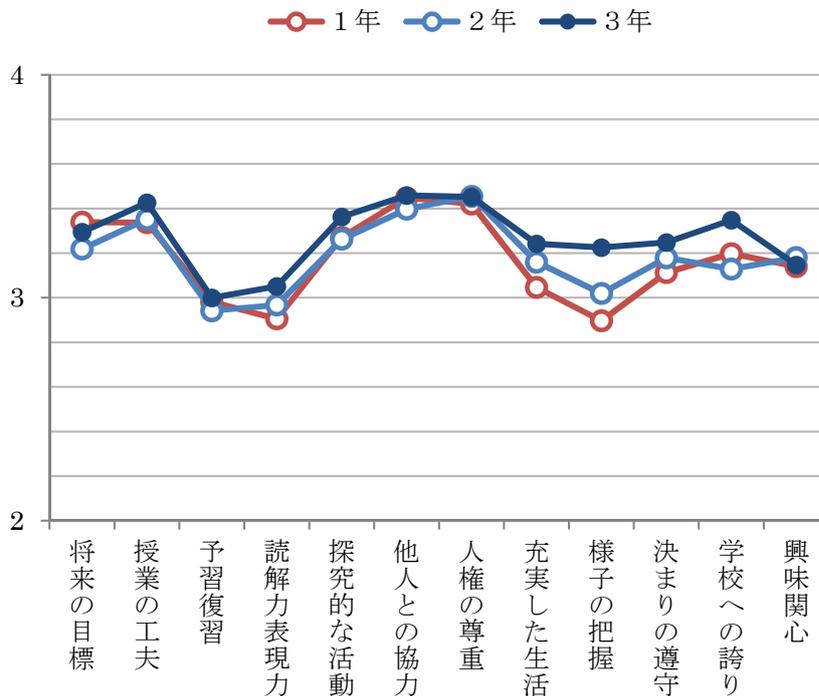


	男子	女子	t 値	有意水準
将来の目標	3.21	3.34	1.789	
授業の工夫	3.36	3.39	0.479	
予習復習	2.86	3.09	2.676	p<0.01
読解力表現力	3.03	2.94	1.091	
探究的な活動	3.19	3.41	2.790	p<0.01
他人との協力	3.38	3.48	1.422	
人権の尊重	3.31	3.58	3.946	p<0.01
充実した生活	3.08	3.25	2.046	p<0.05
様子の把握	3.09	3.05	0.358	
決まりの遵守	3.03	3.34	4.149	p<0.01
学校への誇り	3.14	3.32	2.053	p<0.05
興味関心	3.13	3.18	0.592	

生徒の性別ごとに、「将来の目標」から「興味関心を持って授業を受けている」までの12項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして平均を算出し、平均の差の推計のために対応のないt検定を施した。

その結果、「予習復習」、「決まりの遵守」などの6項目で性差を認めることができた。有意差の認められたいずれの項目においても、女子のポイントが男子より高く、成長期の成熟度の違いを示していると考えられた。「読解力表現力」と「様子の把握」は、男子のポイントが高くなったが、有意差は認められなかった。

③ 生徒の学年による比較



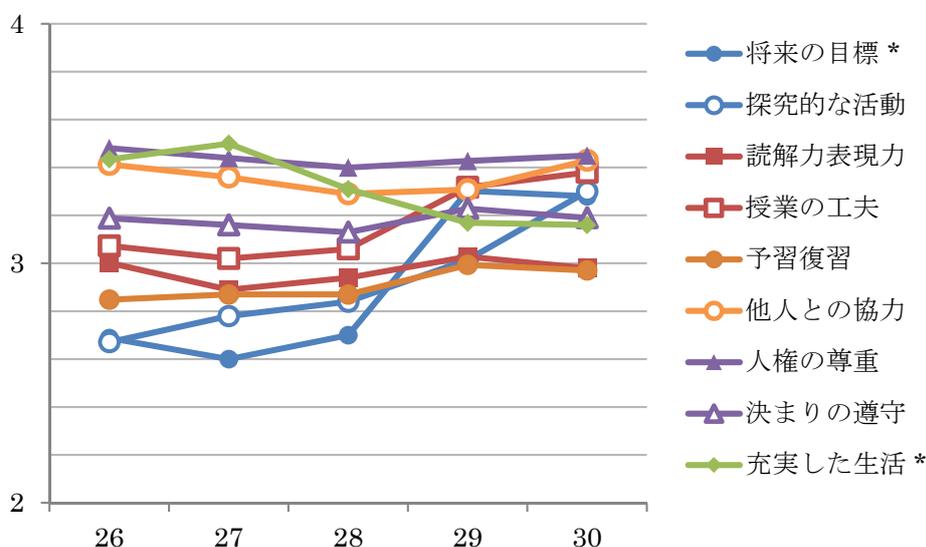
	1年	2年	3年	F 値	有意水準	多重比較		
将来の目標	3.34	3.22	3.29	0.829				
授業の工夫	3.34	3.35	3.43	0.666				
予習復習	2.98	2.94	3.00	0.187				
読解力表現力	2.91	2.97	3.05	0.955				
探究的な活動	3.27	3.26	3.36	0.762				
他人との協力	3.45	3.40	3.46	0.320				
人権の尊重	3.42	3.46	3.45	0.083				
充実した生活	3.05	3.16	3.24	1.662				
様子の把握	2.90	3.02	3.23	3.553				
決まりの遵守	3.11	3.18	3.25	0.984				
学校への誇り	3.20	3.13	3.35	2.495				
興味関心	3.14	3.18	3.15	0.105				

「将来の目標」から「興味関心を持って授業を受けている」までの12項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，各学年の生徒の各項目に対する回答の平均を算出し，平均の差の推計に一要因分散分析を施し多重比較には Tukey の方法を用いた。

その結果，すべての項目で学年ごとの平均値に有意差は認められなかった。包括的に学年を比較すると，学年進行とともにポイントが上がり，3年生のポイントが最も高かった。「様子の把握」の学年差は比較的大きかったが，分散が大きく差は有意ではなかった。個々の生徒によりで感じ方が大きく変わるためであることが考えられた。

(5) 調査項目に対する回答の年度推移

○生徒全体



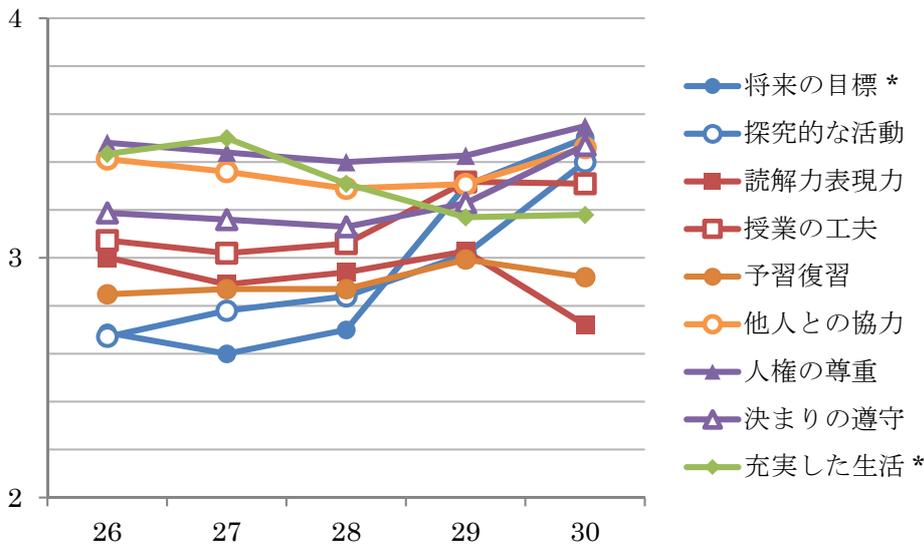
「*」のついた項目は、設問が変更されたため、平成28年度以前との単純比較はできない。

生徒

年度	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	度数	平均	標準偏差												
将来の目標*	468	2.69	0.84	477	2.60	0.90	463	2.70	0.90	466	3.30	0.75	417	3.28	0.77
探究的な活動	468	2.67	0.76	477	2.78	0.77	461	2.84	0.79	465	3.02	0.80	420	3.30	0.78
読解力表現力	468	3.00	0.73	477	2.89	0.76	462	2.94	0.78	464	3.03	0.76	418	2.98	0.85
授業の工夫	466	3.07	0.78	477	3.02	0.78	463	3.06	0.78	466	3.32	0.77	420	3.38	0.70
予習復習	468	2.85	0.86	477	2.87	0.92	463	2.87	0.90	465	2.99	0.89	419	2.97	0.85
他人との協力	465	3.41	0.68	476	3.36	0.74	462	3.29	0.79	465	3.31	0.75	420	3.43	0.71
人権の尊重	468	3.48	0.67	475	3.44	0.68	462	3.40	0.74	466	3.43	0.72	420	3.45	0.73
決まりの遵守	468	3.19	0.78	475	3.16	0.75	463	3.13	0.80	464	3.23	0.80	419	3.19	0.77
充実した生活*	463	3.43	0.77	471	3.50	0.78	462	3.31	0.87	466	3.17	0.90	420	3.16	0.85

「探究的な活動」の継続した増加は認められるものの、「充実した生活」項目は漸減の傾向が認められる。「将来の目標」も大きな上昇が認められるが、これらが設問が変更されたことに伴う変化であるかどうかの詳細な検証が必要である。他の項目は概ね増加の傾向にあると思われる。生徒にとって充実した環境の整備が進んでいると考えられる。

○保護者



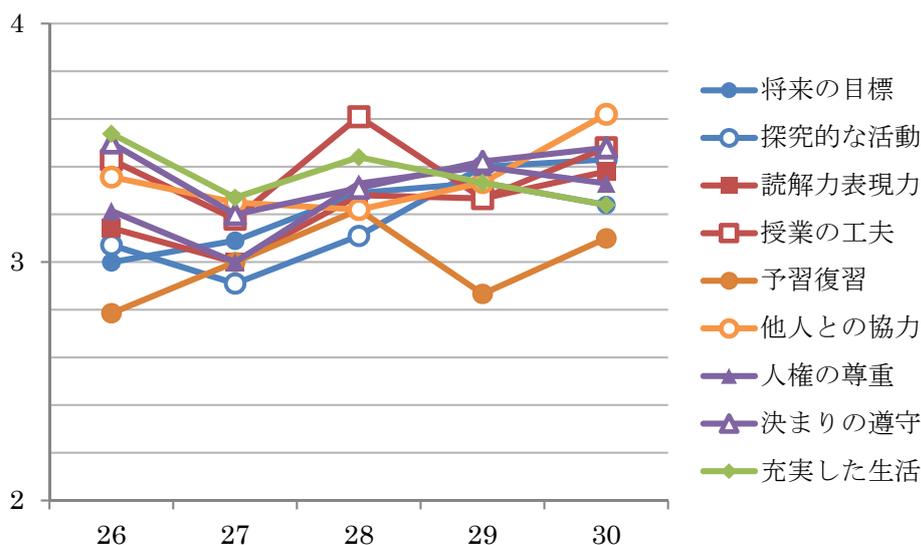
「*」のついた項目は、設問が変更されたため、平成28年度以前との単純比較はできない。

保護者

年度	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	項目	度数	平均	標準偏差	度数	平均									
将来の目標*	417	2.46	0.97	420	2.57	1.01	433	2.46	0.95	416	3.43	0.78	401	3.50	0.75
探究的な活動	417	2.61	0.86	422	2.67	0.88	432	2.69	0.91	416	2.82	0.88	401	3.40	0.68
読解力表現力	417	2.97	0.83	419	3.03	0.78	432	2.99	0.81	416	3.07	0.74	401	2.72	0.88
授業の工夫	417	3.01	0.83	421	3.08	0.82	433	3.06	0.82	416	3.36	0.73	401	3.31	0.75
予習復習	417	2.89	0.95	416	2.95	0.95	433	2.88	0.97	416	2.94	0.95	401	2.92	0.96
他人との協力	417	3.57	0.62	421	3.56	0.60	433	3.47	0.73	416	3.49	0.70	400	3.46	0.65
人権の尊重	417	3.57	0.58	417	3.58	0.60	432	3.54	0.65	416	3.57	0.62	401	3.55	0.61
決まりの遵守	417	3.54	0.62	420	3.50	0.69	433	3.46	0.69	416	3.44	0.72	401	3.47	0.70
充実した生活*	415	3.56	0.70	418	3.53	0.74	433	3.46	0.69	416	3.20	0.81	400	3.18	0.79

「探究的な活動」と「将来の目標」の継続した増加は認められるものの、「読解力表現力」と「充実した生活」項目は漸減の傾向が認められる。特に「充実した生活」と「将来の目標」の変化が大きいため、これが設問が変更されたことに伴う変化であるかどうかの詳細な検証が必要である。

○教員



教員

年度	平成 26 年度			平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
	度数	平均	標準偏差												
将来の目標*	14	3.00	0.88	11	3.09	0.70	17	3.29	0.59	15	3.33	0.47	21	3.24	0.61
探究的な活動	14	3.07	0.62	11	2.91	0.70	18	3.11	0.83	15	3.40	0.49	21	3.43	0.49
読解力表現力	14	3.14	0.53	11	3.00	0.78	18	3.28	0.90	15	3.27	0.77	21	3.38	0.79
授業の工夫	14	3.43	0.51	11	3.18	0.98	18	3.61	0.61	15	3.27	0.68	21	3.48	0.59
予習復習	14	2.79	1.05	9	3.00	0.71	18	3.22	0.67	15	2.87	0.81	21	3.10	0.75
他人との協力	14	3.36	0.50	8	3.25	0.71	18	3.22	0.88	15	3.33	0.79	21	3.62	0.58
人権の尊重	14	3.21	0.70	10	3.00	0.82	18	3.33	0.69	15	3.40	0.80	21	3.33	0.64
決まりの遵守	14	3.50	0.64	11	3.20	0.69	18	3.31	0.60	15	3.42	0.61	21	3.48	0.66
充実した生活*	13	3.54	0.52	11	3.27	0.65	18	3.44	0.71	15	3.33	0.60	21	3.24	0.61

「探究的な活動」, 「読解力表現力」の増加が認められる。教員の学習指導の方向性が定まってきたことを示していると考えられる。